

第 59 回名古屋高速道路公社運営会議議事録（要旨）

● 日 時：令和 2 年 11 月 19 日（金） 10:30～11:30

● 場 所：名古屋高速道路公社 本社黒川ビル 2 階大会議室

● 出席者

会長	愛知県知事	大村	秀章		
委員	名古屋市長	河村	たかし		
〃	東海財務局長	水口	純		
〃	中部地方整備局長	堀田	治	(代理) 道路部長	松居 茂久
〃	名古屋商工会議所会頭	山本	亜土	(代理) 常務理事・専務理事	田中 豊
〃	名古屋銀行協会会長	中村	昭彦	(代理) 専務理事	野原 強
〃	名古屋高速道路公社理事長	新開	輝夫		

● 議事

- (1) “これまで” の名古屋高速～経緯と実績～
- (2) “これから” の名古屋高速～未来の姿～

● 質疑応答

(河村委員)

- かねてより言っているが、公社は毎年 300 億円のお金を返済している。これを返済せずに使って欲しい。法律上は道路にしか使えないということだと思うが、国に法律改正を提言してもいいのでは。今の経済の状況では、民間はお金を使わないので、公共事業でお金を使わないといけない。特にコロナ禍においてはそれが重要だ。岐阜への延伸は当然のことながら、他のことでも何か考えて欲しい。
- またその際には、スーパーゼネコンではなく、地域の土木業者を使う、地域の雇用を保障していくという体制を是非取って頂きたい。納税者に向けてのメッセージのある、ユーザーオリエンテッドな政策を取って頂きたい。

(新開委員)

- 必要なところに投資をしていくという点についてはご意見のとおりであり、都心アクセスや名岐道路の整備は大きな投資であると考えている。
- 何に投資できるかについては、やはり都市の側が都市の魅力として、いろいろなものを造ったときに、それに対して高速道路がいかに使いやすいようにできるかということと考える。休憩所や駐車場を設けることは高速道路に係る法律上可能であるので、その延長でアイデアを出せる可能性はある。ただ、名古屋市なり愛知県がより面白くなっていく中で、それに高速道路がどのように関わっていけるかが重要ではないか。
- 地域の企業については契約制度上の制限はあるが、できるだけ配慮していきたい。

(水口委員)

- 財務局が先月公表した直近の東海管内の経済情勢は、コロナ感染症の影響により一部に厳し

い状況が残るものの持ち直しているという表現としている。コロナ禍にあっても当地域は自動車とその関連業種を中心に着実に持ち直しており、全国の他地域と比べても相対的に改善していると思われる。

- 今後も引き続き東海地域の経済が力強く持ち直していくということが期待されるが、その中において名古屋高速道路は地域の経済活動を支える重要なインフラである。説明にあったように、安全・安心・快適な道路サービスの充実に引き続き努めて頂きたい。
- そのためにも中期経営計画の着実な実施が必要であると考えられる。都心アクセス向上、名二環とのネットワーク完成、新たな料金体系への移行、効果的な渋滞対策、その他交通安全対策、防災、大規模修繕等々、多方面に渡るが、より一層高速道路の有効利用が促進されるよう、今後環境の変化もあるかもしれないが、関係機関とも連携して着実に事業を推進して頂きたい。
- 事業の推進には利便性の向上ということも大事であるが、それとあわせて経営基盤の強化ということも大切であるので、事業のPDCAサイクルをしっかりと回して頂きながら、長期的視点にたって経営管理を行うということにもご留意頂きたい。
- 最後に、未来の姿ということで説明があったが、データ活用、自動運転など、ICT、技術革新への対応ということについて、今後とも先進的・積極的な取組を期待したい。

(堀田委員代理 松居道路部長)

- 名岐道路の現在の準備状況を紹介させていただきたい。高速道路を造るにあたっては、第一段階としてどのあたりに何を造るのか、おおまかな形でルートを議論する。これは社会資本整備審議会道路分科会の中部地方小委員会で既に終了している。
- そのうえで名古屋高速道路として事業化していくために、都市計画や環境アセスメントを行っていく必要がある。その前段階として、環境アセスメント上の方法書の原案について、現在準備を進めている。これはそれほど長い間を空けずに関係機関の皆様と調整を始められるのではないかと考えている。
- 愛知県・名古屋市さんには今後ともご協力・調整をお願いしたい。

(山本委員代理 田中常務理事・事務局長)

- 当地域の高速道路ネットワークが大変充実・強化されてきて、地域経済を支える大動脈であるといえるが、ますます名古屋高速道路がこれから果たしていく役割、それに対する期待というのは大きくなっていくと感じている。
- 特に名二環が完成すれば、懸案であったミッシングリンクが解消され、高速道路のネットワークが一層充実するので、ユーザーの一人として大変楽しみにしている。
- そうした中でお話申し上げたいのは、一つにはリニアの開業効果は大きなインパクトがある。それを域内にあまねく普及させていくことが重要。名古屋高速道路もそれに大きな貢献をされるということで、大変重要なプロジェクトであると考えている。
- また当初昭和54年に開通した際の日当たり交通量1万3千台が、今30倍程度になっていると思うが、道路の渋滞という観点から、移動の定時性・速達性を上げていく、人流・物流両面に渡って効率化、さらには安全性の強化をしていくことが大変重要であると思われる。
- 広域ネットワークの充実と利便性の向上という説明があったが、特に、名古屋と岐阜を結んでいる国道22号線や、名神高速道路の一宮～一宮 JCT 間の慢性的な渋滞、これを一気に解消する特効薬という意味で、名岐道路の整備には大きく期待している。
- 名岐道路が完成すれば、岐阜方面から名古屋港へ、航空宇宙産業であるとか、あるいは工作機械など、物流効果を大きく高めることになるとと思われる。また人の流れの面では、名古屋駅、あるいはセントレアなどから、高山方面へ抜けていくような観光客の移動にも大きな効

果を発揮してくれる道路であると考えている。

- 国際競争力の強化、国土強靱化という観点からも名岐道路というのは大きな使命を帯びた道路で、投資効果は非常に高いと思われる。国の支援も得ながら、早期整備を実現して頂きたい。
- 最後に、道路ネットワークが最大限に賢く活用されていくことが大切である。人と物の流れの効率化が図られるよう、ユーザー向けの広報にも努めて頂きたい。

(中村委員代理 野原専務理事)

- 名古屋高速50年の歩みについてご説明頂き、改めて当地の経済物流の重要なインフラとして名古屋高速道路が大きな役割を果たしているということがよく分かった。
- 環境面についても高速道路の方が一般道路に比べて効果があるという説明もあり、認識を新たにしたところである。
- リニアの開業に向けて、都心アクセスの向上策など、しっかり着実に計画を進めて頂きたい。
- そのうえでのお願いとしては、今後料金の抜本的な変更が予定されている中であって、当面はコロナ感染症による影響が続くと考えられる。いずれも人や物の流れを構造的に変えていく可能性があるため、従来以上に需要動向をしっかりと見極めて頂いて、中長期的に収入が安定的に推移するようご尽力頂きたい。

(河村委員)

- 300億円の返済がどの銀行に返済されて、その返済金が銀行からどこに投資されているのか。名古屋地区に投資されているのか、東京の方に投資されているのか。一度銀行に調べて貰うといいのではないかと。地域の商売を盛り上げることが重要だ。

(新開委員)

- 当社の民間借入金については大部分が市場公募債であり、銀行からの借入れは限定的である点について、ご理解を賜りたい。

(中村委員代理 野原専務理事)

- 銀行も当地域の企業のサポートに努めている。ご理解を賜りたい。

(大村会長)

- 貴重なご意見を頂いたので、今後活かして頂きたい。特に前向きな投資をお願いしたい。
- 新たな料金については、今後ともお客様への周知・広報をきめ細やかにを行い、着実に進めて頂きたい。
- 都心へのアクセス向上の取り組みは、前向きな投資であるが、引き続き関係機関との連絡調整を密にして必要な設計・工事などを進めて頂きたい。
- 名古屋高速道路は名古屋都市圏の経済・産業を支える基幹的な道路網であり、今後も益々期待される役割をしっかりと果たしていけるよう、皆様の一層のご支援をお願い申し上げたい。